

**Visa、「スマホで！タッチで Visa 割キャンペーン！」**  
**(さらに特定のお店でお得！)本日3月2日から開始**  
**対象店舗でのご利用で、追加で15%キャッシュバック！**  
**～いつもの外食をさらにお得に～**

ビザ・ワールドワイド・ジャパン株式会社(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:シータン・キトニー、以下 Visa)はスマートフォンで Visa のタッチ決済をご利用いただくとキャッシュバックが受けられる、「スマホで！タッチで Visa 割キャンペーン！」の追加キャンペーンとして、対象店舗でさらにお得になる、「スマホで！タッチで Visa 割キャンペーン！」(さらに特定のお店でお得！)を、本日2026年3月2日(月)より2026年4月30日(木)まで実施することを発表します。

Visa 割に登録いただいたカードをスマートフォンに設定いただき、期間中、外食やカフェなど日常的に利用される対象店舗で、Visa のタッチ決済でお支払いいただくと、ご利用金額の15%がキャッシュバックされます(1枚の Visa カードにつき期間中最大1,000円)。2月10日より開始した全国どこでも、一日何度でも使える「スマホで！タッチで Visa 割キャンペーン！」に加えて、本キャンペーンのご利用で、いつもの外食をよりお得に楽しんでいただけます。

ランチや外出先など、日常のさまざまなシーンでスマートフォンをかざすだけで、スピーディーかつ安心・安全なタッチ決済体験をぜひお試しください。

スマホで！  
**タッチで**  
**Visa割**  
キャンペーン!

対象店舗にて、スマホでVisaのタッチ決済ご利用で!

(合計1,000円まで)  
**15%キャッシュバック!**

キャンペーン期間  
2026/3/2(月)  
~4/30(木)

\*ドトールコーヒーストール、ドトール珈琲農園、ドトール珈琲店、ドトールキッチン、ドトールパークカフェ、ドトールスタンドが対象  
 ※モバイル決済への対応可否は、発行会社及び端末により異なります。※一部対象外のカードがございます。  
 ※一部ご利用いただけない店舗・端末もございます。※事前の登録が必要です。詳細はキャンペーンページにてご確認ください。

## 【キャンペーン概要】

### ● キャンペーン名称

スマホで！タッチで Visa 割キャンペーン！（さらに特定のお店でお得！）

### ● 期間

2026 年 3 月 2 日(月)から 2026 年 4 月 30 日(木)まで

※キャンペーンは早期終了の可能性あります。

### ● 内容

- キャンペーン期間中に下記の対象加盟店にて、スマートフォンで Visa のタッチ決済をご利用いただくと、15%のキャッシュバックが行われます。(1 枚の Visa カードに対してキャッシュバック上限額は 1,000 円)
- 参加には、事前に Visa 割にメールアドレスとカード番号の登録が必要です。
- スマートウォッチなどのウェアラブルデバイスでの決済も対象です。

### ● 対象加盟店

詳細についてはキャンペーンサイト (<https://www.visa.co.jp/about-visa/promotions/visapromo26feb-mobile/merchant.html>)をご確認ください。

● 「スマホで！タッチで Visa 割キャンペーン！」(さらに特定のお店でお得！)の詳細は、以下をご参照ください。

<https://www.visa.co.jp/about-visa/promotions/visapromo26feb-mobile/merchant.html>

また、下記のカード発行会社では、さらにお得な追加キャンペーンを実施しています。詳細については各社のウェブサイトにてご確認ください。(五十音順で記載)

- ・NTT ドコモ
- ・ポケットカード
- ・三井住友カード
- ・三菱 UFJ ニコス

### ● 参考

[Visa、タッチ決済全国キャッシュレス推進プロジェクト始動 普及率約 6 割から次の成長フェーズへ プロジェクト第一弾として「スマホで！タッチで Visa 割キャンペーン！」明日 2 月 10 日開始 | Visa](#)

###

## 【Visa について】

Visa は電子決済の世界的リーダーとして、世界 200 以上の国と地域における決済取引によって消費者、事業者、金融機関や政府機関をつないでいます。Visa のミッションは、最も革新的かつ利便性や信頼性が高く安全な決済ネットワークで世界を結び、個人や企業、そして経済の繁栄に貢献することです。私たちは、世界中のすべての人にとっての包括的な経済こそが、世界中の人々の生活を向上させ、経済へのアクセスが決済の未来へつながると信じています。詳しくは、[Visa.com](https://www.visa.com) (英語サイト)または [www.visa.co.jp](https://www.visa.co.jp) (日本語サイト)をご覧ください。